



◆農作業に係る留意事項について

地域住民より苦情が寄せられています。同じ住民として、配慮しながら農作業をしましょう。

1. 農機具利用（スピードスプレーヤ・動力付噴霧器・爆音機等）の際は、日中も含め特に極端に早い時間等の騒音に注意する。※爆音機は、行政より住宅地より200m以上離す。早朝夜間は使用しないと周知されています）
2. 子供たちの登下校、通勤等の時間等、薬剤散布に注意し、対策を実施する。
3. 近隣に住宅等ある場合は、住宅や洗濯物への飛散をしないよう、配慮しましょう。
4. 剪定枝の焼却は、消防書への届け出を必ず行い、大きな火種や煙に注意（凍霜害資材の燃焼）し、適正な処理をしましょう。
※薬剤防除や焼却は、必要に応じて近隣住民に事前にお知らせする等も実施しましょう。

◆栽培日誌の記入上の注意点について

収穫前に、各品目で「栽培日誌」の提出をいただきますが、下記に注意する項目を示したので、記入の際の参考にする。なお、「栽培日誌」配布は、出荷前に順次行う。

1. 確認欄（印）は、JAにて使用するため押印しない。
2. 品種は、6種しか記入できない。不足する場合は、主要な品種のみ記入する。
また、品種コードを記入するよう記載されているが、記入の必要はない。
3. 収穫予定日は、必ず記入する。（おおよその予定日でよい）
4. 園地住所と面積を必ず記入する。
5. 販売区分は、記入の必要はない。
6. 10a当りで換算して記入する(施肥防除基準を参照)
散布量は、10a当りで換算して記入する。例) 園地5aに3000散布=10a当6000
施肥量は、10a当りで換算して記入する。例) 園地4aに20kg施肥=10a当50kg
性フェロモン剤は、10a当りの設置本数を、10a当り散布量の項目に記入する。
7. 園地Noは、記入の必要はない。
8. 使用した農薬には必ず○印をする。農薬名を手書きで記入した場合に忘れやすいので注意。
9. 記載された農薬以外を使用した場合は、「農薬名」と「希釈倍率」と「○」を記入する。
農薬名は正式名称で剤型も記入する。例えばただの「キノンドー」では無く「キノンドー顆粒水和剤」・「キノンドー水和剤80」・「キノンドーフロアブル」なのか明確に記入する。
10. 希釈倍率のみ変更（登録範囲内）した場合は、記載された希釈倍率に線を引き、変更した希釈倍率を記入する。
11. 記載された定期防除以外に特別散布を実施した場合は、裏面の空いている項目に記入する。
12. 裏面右下の作業開始年月を記入する。基本的に基肥施用をした月で記入する。
13. ボールペンでの記入が基本。薄く鉛筆での記入は読み取れない。
14. 用紙は機械で読み取るので、汚さない・破かない・シワシワにしない。
15. 散布していない農薬欄にはなにも記入しない。大きな×など記入しない。予定も記入しない。

◆スモモヒメシンクイ対策について

シンクイムシ類は、果樹において、果実害等大きな問題となり、農家の収入に大きな影響を及ぼしている。特に近年発生が増加した、スモモヒメシンクイは、りんご・プルーン・スモモにおいて、甚大な被害につながる。

発生源の一つとして、自家用等に園地のプルーン・スモモや庭先に植えられているハナモモ・ボケから、近隣の販売目的に栽培している、りんご・プルーン・スモモへ飛来している事が、課題となっている。

発生源にならないよう、管理作業をお願い致します。近所に見受けられる場合は、声掛けをする。

1. 被害果の処理方法

- ①落果した果実も含め“シンクイムシ類の被害果”はすべて集め、**7日以上できるだけ長く水浸け**し、果実内の幼虫を殺す。
- ②被害果を土中に埋めても浅いと羽化できるので、穴は深く掘って埋める。
浅く埋める場合は、基本的に水浸け後に埋める。
- ③**肥料袋に被害果を詰め**て口を縛り、炎天下に放置し、熱で殺した後に埋める。
- ④数量が多いとかさばるので、被害部分だけをくり抜いて処理しても良い。

2. その他対策

- ①薬剤防除等で管理をする。プルーン園では10日間隔の散布を徹底する。
りんご園には8月以降に被害が増加するので、**殺虫剤は散布間隔を短く**し定期的に防除する。
- ②放任樹等シンクイムシ類の発生源となりそうな樹は伐採する。花桃・ボケなども含む

スモモヒメ シンクイの 特徴

1. 卵期間は4～7日と短いのが特徴（20℃で約7日）
2. 孵化後直ちに果実内に食入し、約27日で成虫となる。
3. 交尾は羽化後2日目から行う。

※殺虫剤散布の適期は、成虫発生期である。

◆マグネシウム欠乏対策について

欠乏症状が様々ですのでご注意ください。

- ①従来から見かけるもと葉が縞状に色ぬけ（トラッ葉）
- ②葉の縁から茶色く枯れてくる、蒸れ葉に似た症状

対策 ①葉面散布の実施（いずれかを農薬散布に混用）

グリーントップ70 500倍（水1000当り200g）

ビックマグ 1,000倍（水1000当り100g）

※ビックマグは、今後名称がリーフマグに変更になっていきます。

②施肥の実施（降雨の後）「硫マグ25」の施用 1～2袋/10a当

※土壌診断を行うとマグネシウム欠乏の園が多い。

もと肥で「果樹の力」を施用しているが不足する場合がある。

カリウム（加里）が多いとマグネシウムの吸収が抑えられてしまう。

カリの多い肥料「ケイフン」などは施肥しないようにしているが、なかなか減らない。

◆かん水について

梅雨になっても雨が不足する場合があります。降水量が少ない場合は積極的にかん水を実施する。

干天が続いたら10日程度に20mm程度又は7日程度に15mm程度のかん水を行なう。

◆梅雨入り後の栽培管理について

1) 共通

- ①曇天長雨で病害が発生しやすくなるので、農薬散布と耕種的防除の徹底に努める。
殺菌剤の散布を丁寧に行う。雨の前に行う（感染する前に予防する）
- ②水が溜まる所は排水を図り、長雨に備えて圃場周囲に明きよ・暗きよ等の排水対策を行なう。
圃場の周囲に溝を掘って水を流す。草を伸ばして吸わせるなども合わせて行う。
- ③新梢管理や支柱たてなどを行い、風通しを良くさせる。
- ④樹勢が強く軟弱徒長する場合は、スミクリン（炭＋リン酸）の施肥を行う。10 a 当たり 5 袋前後

2) りんご

特に新ワイ化は停水排水に注意する。
炭そ病・輪紋病などの感染を防ぐため、薬剤の防除間隔が空かない様にする。

3) もも

灰星病が発生するため収穫前の防除を徹底する。腐敗果は取り除き園外へ。
曇天が続くと着色不良になりやすい。着色は遅れて果肉成熟は進むので適期収穫に心がける。
せん孔細菌病の枝病斑の切除を引き続き行う。

4) ぶどう

降雨があれば果粒肥大は良好となるが、糖度、着色、成熟は遅れる。
副梢切除や摘心など新梢管理を徹底する。
摘粒が終了次第袋掛けを急ぐ。ただし房が乾いてから行う。また日焼けに注意する。
泥跳ねしないように、ワラマルチや草生栽培にする。

5) 日本すもも・プルーン

裂果の発生が多くなる。
成熟はバラつくので、果肉の成熟を確認しながら適期収穫に努める。
灰星病等の発生が多くなるので防除を徹底する。

◆盗難に注意を！！

農産物の盗難に気を付けましょう。また農作業中を狙った車上荒らしやアルミの脚立・農機具の盗難が管内でも発生しています。ご注意ください。(放置せずしまう・カギをかける・持ち帰る)

◆防霜ファンの電源カットについて

凍霜害の危険の無い時期になったので電源カットをしてください。
落雷の被害を防ぐ為、防霜ファンのブレーカーを切ってコンセント(コネクター)を抜いて下さい。
センサー(サーモスタット)も風雨のあたらないように収納して下さい。

◆農作業事故に注意する

「農作業の安全」に対する意識を常に持つよう心がけ、農作業中の事故・怪我を起さないよう注意して作業に当たる。

◆農作業中の熱中症対策について

- ①体調不良となったらすぐに作業を中止しましょう。
手足のしびれ・めまい・吐き気・頭痛・汗をかかない・体が熱い・体がだるい・まっすぐ歩けないなど
- ②水分補給しましょう
- ③高温時の作業は極力避けましょう。作業場所に日除けを作るなど。
- ④単独作業は避けましょう。作業は二人以上で行う。声掛けや定期的な確認し合うなど。
- ⑤休憩中は涼しいところで。屋内では扇風機やクーラー活用を。

◆短期アルバイト大募集

勤務地	住所	TEL	担当
篠ノ井東部流通センター	篠ノ井東福寺 1940	292-0082	伊藤
篠ノ井西部流通センター	篠ノ井石川 428	293-4668	松坂
川中島共選所	川中島町御厨芝原 909-1	284-4475	高橋
若穂果実流通センター	若穂川田字須田町 240-1	282-2002	松沢
信更流通センター(9月～)	信更町赤田 805-4	信田支所 290-3636	宮田
		営農販売部 292-0930	中沢

7月中旬～8月下旬のもも・りんごの選果・荷造り業務のアルバイトを募集しています。
下記流通センター・共選所まで申し込みください。なお、勤務地により、雇用期間が異なります。

《栽培に関する問合せ》

寺澤（篠ノ井西部・信田）：080-1188-5229／外谷（篠ノ井東部）：080-8048-6602

松橋（松代）：090-4816-6297／佐藤（川中島）：090-7179-9866

根津（更北）080-1203-8576／元田（若穂）282-2002

吉澤（全域・編集担当）：090-2543-0365／営農販売部（本所）：292-0930

○果樹のアドバイザー（流通センター長兼務）

松澤（若穂）080-1191-5166／伊藤（篠ノ井東部）080-2239-6816

松坂（篠ノ井西部）080-1188-4131

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／営農販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部／農業資材課：299-3311